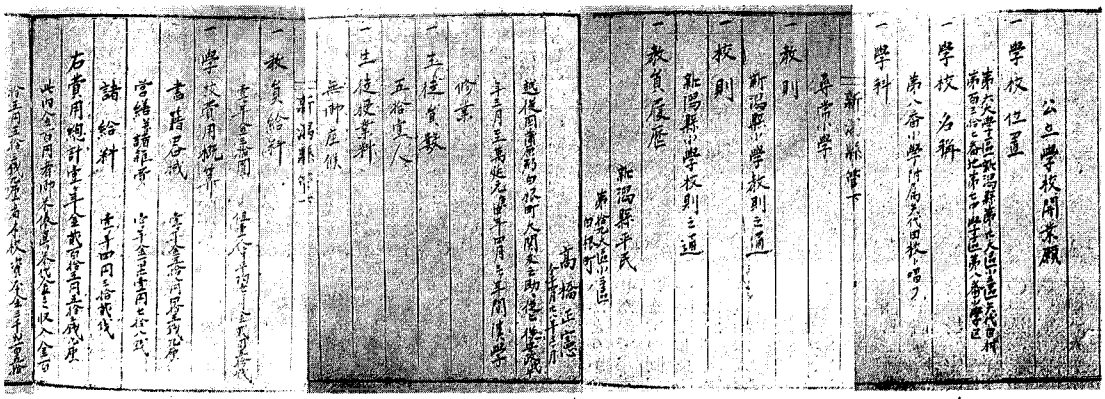


町史だより

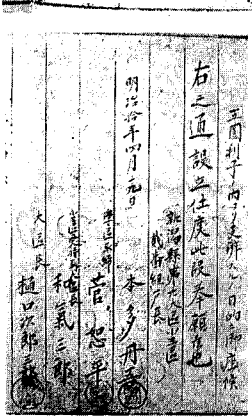
小須戸町史（へんさん室）

(23)

寺子屋より学校へ　(三)

矢代田校公立学校開業願

「矢代田校沿革史」に〝程島中村東嶋西嶋古津朝日割町塩谷金津蒲ヶ沢（現新津市）矢代田村字五本田ニ中村小学校分校ヲ設立ス〟とある。実は当時は未だ中村校はなく、正式には「第七中学区第八番小学附属矢代田校」が正式の呼称であった。第八番小学は「西嶋校」で、西島村（現新津市）蓮徳寺の庫裡を借りた学校で、学区は田家明治八年五月矢代田村字五本田ニ中村小学校分校ヲ設立ス〟とある。実は当時は未だ中村校はなく、正式には「第七中学区第八番小学附属矢代田校」が正式の呼称であった。第八番小学は「西嶋校」で、西島村（現新津市）蓮徳寺の庫裡を借りた学校で、学区は田家



右之通設立仕度此段奉願候也
明治拾年四月九日
新潟県第廿大区川三区弐番組戸長　本多　丹吾
学区取締　菅　恕平
小三区受持副大区長　和気　三郎
大区長　樋口次郎三郎

上記の写真は、矢代田武沢安次氏宅に残されている「戸長公用留」中の文書で、現在矢代田校関係文書としては最も古い貴重な文書である。

公立学校開業願

一　学校位置　第六大学区新潟県第廿大区小三区矢代田村第百三拾七番地第七中学区第八番小学区
一　学校名称　第八番小学附属矢代田校
一　学科　尋常小学
一　教則・校則　新潟県小学校則之通
一　教員履歴　新潟県平民第拾九大区小三区白根町高橋正憲　本年四月廿八年十一ヶ月　越後国浦原郡白根町大関友之助ニ従ヒ従安政戊午年三月至萬延元庚申年四月三ヶ年間漢学修業
一　生徒員数　五拾壱人
一　生徒授業料　無御座候
一　教員給料　壱ヶ年金三拾円　但壱人ニ付平均壱ヶ月金貳円五拾銭
一　学校費用概算　書籍器械　壱ヶ年金五拾八円四拾五銭　九厘営繕并諸雑費　壱ヶ年金百廿壱円七拾八銭　諸給料　壱ヶ年四円三拾弐銭　右費用総計壱ヶ年金弐百拾五円五拾三銭九厘。
此内金百円者御米俵直リ米代金之収入　金百拾五円五拾三銭九厘者本校資本金三千弐百五拾五円利子ノ内ヨリ支弁スルノ目的ニ御座候

明治34年頃の矢代田小学校

大区長　樋口次郎三郎

右の文章は、この以前にすでに仮開学していたものを本開学として設立を願うための文書と思われ、細部の説明は「小須戸町史」に譲るが、当時の様相がうかがわれる。提出者の本多丹吾は矢代田戸長役場制により小向小学校の分場となり、明治二十二年に独立して矢代田小学校となる。現在地点に校舎を新設したのは、義務教育が六ヶ年になった明治四十年着工四十二年に完成した。

仮開学の最初はどこかを借館したであろうが不明。文書の時点では字五本田（現在校舎の向い側・元諏訪神社右側）に校舎があり、明治十八年戸長役場制により小向小学校の分場となり、明治二十二年に独立して矢代田小学校となる。現在地点に校舎を新設したのは、義務教育が六ヶ年になった明治四十年着工四十二年に完成した。

人。教員高橋正憲は白根の人明治十七年まで在職した。